

第3回関東放送シンポジウム

関東大震災発生から100年、災害時のラジオの存在意義について

「基調講演、事例報告を踏まえて」

武蔵大学社会学部
メディア社会学科教授
松本 恭幸



大規模災害時の臨時災害放送にとって重要なこと

1. 臨時災害放送局の開局支援を受けるための人のネットワーク

東日本大震災のような大規模広域災害の際に、(コミュニティ放送局開局に向けて準備が進んでいた宮古市、隣接する内陸部の登米市のコミュニティFM局から支援を受けた気仙沼市を除いて)東北沿岸部の被災地で、山元町の「りんごラジオ」が最も早く開局した背景は…。

2003年に山元町と亘理町でコミュニティFM局設立を目指した有志の会(高橋厚事務局長)が、「災害とラジオ」をテーマに企画したシンポジウムに、「FMながおか」の脇屋雄介局長を招く(高橋はこの時、臨時災害放送局について知る)。その後、コミュニティFM局設立には至らなかったが…。

東日本大震災後の3月18日、電話が繋がって高橋は脇屋に臨時災害放送局開局支援を依頼し、脇屋は機材を車に積んで山元町に向かい、20日夜に到着。翌21日午前中に組み立てて、お昼に開局。

大規模広域災害では多くの地域が被災地となり、その中で速やかに臨時災害放送局を開局するためには、人の繋がりによる支援が大きな意味を持つ。



大規模災害時の臨時災害放送にとって重要なこと

2. 臨時災害放送の担い手となる市民の存在(新規開局の場合)

開局当初、元東北放送アナウンサーだった高橋厚が、公民館で教えた時の受講生が、市民ボランティアとして放送に参加。また「話し方教室」で学んだことのある亘理町の主婦が、山元町での開局を見て脇屋に支援を依頼し、亘理町でも臨時災害放送局(FMあおぞら)を開局。

3. 定時の放送とその内容

町役場1階に仮設スタジオを構えた「りんごラジオ」では、1日13時間の連続放送(午前9時、正午、午後5時に役場に集約された震災関連情報の伝達)、町長、副町長、教育長等の行政の責任者が交代で生出演、復旧活動に取り組む自衛隊関係者やボランティア、そして震災の当事者である市民のゲスト出演(開局当初からマスメディアで紹介され、5月からサイマルラジオでの配信も始まって、町民にその存在が知れ渡る)。



大規模災害時の臨時災害放送にとって重要なこと

4. 震災から時間が経つ中での番組内容の変化

山元町では、5月のゴールデンウィーク明けから行政からの情報が少なくなる中、出勤前の高橋自身による町内を車で回っての独自取材（町の話等、収録した市民の声を、コメントを付けて紹介）を行い、地元の特化した番組を全て自主制作するという原則を維持。大内先生が述べられた災害情報（被災者のための生活情報）を一番知っている被災者からの情報を送り出し、地域の情報の拠点化を目指す。

またブログやFacebookでの町の内外への発信。



山元町災害臨時エフエム放送局
りんごラジオ
80.7 MHz

山元町災害臨時エフエム放送局
りんごラジオ
周波数 80.7 MHz
30 7ト
24時間放送！
情報(全)生放送時～生放送時
電話 090-6786-9595



大規模災害時の臨時災害放送にとって重要なこと

5. 大規模災害時にコミュニティ放送が止まった場合の早急な復旧

「ラジオ石巻」では震災から数時間後に演奏所と送信所を結ぶ回線が一時途切れたが、送信所に放送機材を運び、自家発電で1日半で放送再開。その翌日には、中継車の送信機を市役所に運び、臨時のサテライトスタジオを設け、そこから放送。

大内先生のお話の中にあつた震災直後から放送が途切れるまでの間に、メールを送って来た市民のように、「ラジオでつながっている人たちがいる」ため、極力、放送の中断は避けなければならない。



平時の防災ラジオの役割として重要なこと (緊急告知FMラジオが有効に機能するために)

1. 在住外国人に大規模災害時のラジオの役割を知ってもらうために

中越地震当時、長岡市に2000人程の外国人が居住しており、長岡市国際交流センター、新潟県国際交流協会、横浜市国際交流協会、そして阪神淡路大震災をきっかけに誕生した多言語放送を行う神戸市のコミュニティFM局「FMわいわい」等が、「ながおかさいがいえフエム」(FMながおか)に協力して、被災した外国人向けに多言語放送で情報を伝えた歴史。

平時からこうした大規模災害時の外国人向け情報伝達について、備えておく必要。

2. 防災教育に向けて

長岡市では、長岡震災アーカイブセンターきおくみらいによる防災教育の取り組み等を、「FMながおか」が放送で伝えるといった形で、震災メモリアル施設と連携して震災を風化させない取り組みがなされているが、平時の防災に向けた市民の意識向上のための放送は重要。

